

特集／小林 栄 結城市長 2期就任インタビュー

歴史ある結城を未来へつなぐ

～健康・経済・教育を柱に新たな政策～



◆プロフィール◆

小林 栄 (こばやし・さかえ)
1956年1月18日生まれ。67歳。明治大学法学部を卒業。84年に小林司法書士事務所を開業した。2003年に茨城司法書士会副会長、16年に自由民主党結城支部の支部長に就任し、19年に市長初当選。今回、2期目の当選を果たした。趣味はゴルフ、登山。

年度内に計画決定

繁昌塚南 工業団地開発

2期目の当選を果たした小林栄市長が掲げるのは、健康・経済・教育を柱とした新たな政策。市民の健康を守り、経済を成長させ、子どもたちの未来を明るくするため、1期目での経験を活かしながら事業を進めていくと意気込む。また歴史ミュージアムなど、市の文化的側面を支える施設についても引き続き検討を進める。歴史ある結城を未来へ繋ぐため、奮励する小林市長の思いを聞いた。

健康・経済・教育を柱に
結城を未来に繋ぐ責任の重さを感じる。まもなく市制70周年を迎えるところで、今後も市が繁栄していくため、改めて市の現状に向き合っていく必要がある。

2期目では、健康(Keizai・教育(Kyoiku))、3本の柱となる事業を掲げ、その頭文字から新3K宣言と名付けた。健康は、人が幸せに生きるための前提となる。健康づくりには特に力を入れ、市民が運動を行える場所づくりなど、あらゆる施策を検討したい。

経済については、観光事業に対応した商業の活性化、工業団地の早期整備などを進めることで、持続可能な産業・商業・工業の振興を図っていく。教育の面では、子どもたちの個性を伸ばす一助となるような環境を構築したい。

これらの課題に、市民の皆様と力を合わせて取り組んでいく。



◆新たな工業団地開発
新たな工業団地として事業を進めている繁昌塚南地区については、本年度中に

市の歴史を後世に繋ぐ
旧庁舎跡地では、歴史ミニシアムを核とした複合施設整備を計画している。旧庁舎の北側を通る都市計画道路3・4・18号が開通する時期と合わせて、施設完成を目指していきたい。

子どもの可能性を大事に
現在進めている、結城南文教都市・結城市の核は、無制限の可能性が広がる子どもたちの力を引き出すこと、ということにチャレンジしたい。結城南中の周辺は、自然豊かなところ。その自然を活かした体験型学習などを中心とした教育もできれば、現在

旧庁舎跡地に複合施設
設計業務が進んでおり、2027年度の開校を目指している。

また、結城中学校区の城西小学校と城南小学校については、有識者会議において、統合の方向性を提言されている。今後、両校の愛情や保護者・地域住民の意向等を踏まえ、学校規模の適正化を念頭に、学校のあり方を検討していく。

学校跡地活用も協議
現在、多くの市町村で学校の統廃合などが進み、跡地が生まれている。こうした活用方法があるのか参考に、地元住民と協議しながら活用について考

えていきたい。学校は地域の歴史であり、財産でもある。地域のニーズについて話を聞きながら検討を進めていければ、少子化の現状を踏まえ、新しい若い世代に住んでもらうための選択肢として、都市計画の見直しなども含めて県と協議しながら、都市開発についても視野に入れた。結城南中学校区の小学校が閉校するまで、あと4年、地域の人口減少ができる限り緩やかになるような施策を考えていく。

文化の発信地を改修
市民文化センターアクロスの特定大井改修工事については、一般競争入札を公告したが不調となり、仕切り直しとなった。万が一、直下型の地震など災害が起きた時に被害を抑えられるよう、優先して状況の改善を図りたい。改めて、来年度の当初予算に組み込められたいと考えている。

災害時の協力などに期待
建設業者の方々は、災害時などに協力いただくことへの期待も大きい。地元と長く貢献してくださっている企業が数多くある中で、地元企業はぜひとも頑張ってください。

住宅用地整備販売課は、つくば市の住宅事業者向け用地6634・88mを一般競争入札で分譲する。予定価格は(最低売却価格)は4億5000万5000円。周辺道路は、つくば市道71008号線と接している。

地区区分は一般住宅地区。つくばエクスプレス沿線の駅北西に位置し、用途地域は第一種低層住居専用地域(建築率40%、容積率80%)。周辺道路は、つくば市道71008号線と接している。

土地利用にあたり、引渡しの日から5年以内に住居の建設および分譲事業を行うこと、ネット・ゼロ・エネなどを主な条件としている。

東海村は、県警署住宅侵入窃盗等抑止対策実証実験事業の一環として、モデル地区に指定された豊田、百塚、舟形3地区に防犯カメラを設置する。9月補正予算では、工事費として810万7000円を計上。第3四半

早期位置づけ県へ要望
つくば市 茨城縦貫幹線道路 促進協議会

つくば市・大子町間幹線道路整備促進協議会(会長・山口伸樹)は、つくば市・大子町間幹線道路(延長約10.0km)の早期位置づけを県へ要望している。協議会では、つくば市・大子町間幹線道路(延長約10.0km)の早期位置づけを県へ要望している。協議会では、つくば市・大子町間幹線道路(延長約10.0km)の早期位置づけを県へ要望している。



同協議会は、つくば市・大子町間幹線道路(延長約10.0km)の早期位置づけを県へ要望している。協議会では、つくば市・大子町間幹線道路(延長約10.0km)の早期位置づけを県へ要望している。

12月着工を目指す
古河市 体育館のトイレ改修

古河市は、中央運動公園(大野2528)体育館のトイレ改修工事を実施する。12月中には工事が完了する。10月11日中に発注する。工期は6カ月。また、体育館の監視カメラ更新工事についても発注済み。10月26日に開札予定。

3四半期の早期発注
日立市 会瀬町内 道路約200mを改築

日立市は、市道3509号線(会瀬町内)の道路改築工事を実施する。工期は6カ月を想定しており、第3四半期の早期発注を目標としている。

東海村は、県警署住宅侵入窃盗等抑止対策実証実験事業の一環として、モデル地区に指定された豊田、百塚、舟形3地区に防犯カメラを設置する。9月補正予算では、工事費として810万7000円を計上。第3四半

抽ケ台町で舗装復旧
3四半期に指名競争

常陸大宮市は、抽ケ台町の選定と関係各所との調整を行っている。工事場所を確定させ次第、第3四半期

東海村は、県警署住宅侵入窃盗等抑止対策実証実験事業の一環として、モデル地区に指定された豊田、百塚、舟形3地区に防犯カメラを設置する。9月補正予算では、工事費として810万7000円を計上。第3四半

Table with 2 columns: Position (e.g., Mayor, Councilor) and Name (e.g., Eiko Kobayashi, Kenji Yamada).